

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 1 年 5 月 30 日 (2019.5.30)

【公開番号】特開 2018-15653 (P2018-15653A)

【公開日】平成 30 年 2 月 1 日 (2018.2.1)

【年通号数】公開・登録公報 2018-004

【出願番号】特願 2017-212974 (P2017-212974)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 31 年 4 月 5 日 (2019.4.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

所定の制御条件の成立に基づいて遊技者に有利な特典を付与可能な遊技機において、
所定の態様で駆動される第 1 電気部品、及び、第 2 電気部品と、
前記第 1 電気部品、及び、前記第 2 電気部品を制御する第 1 の制御手段と、
前記第 1 の制御手段を介して、前記第 1 電気部品、及び、前記第 2 電気部品を制御する
第 2 の制御手段と、を備え、

前記第 1 の制御手段は、

前記第 2 の制御手段から前記第 1 電気部品、又は、前記第 2 電気部品のいずれか一方
を駆動させる指示が入力された場合には、前記第 1 電気部品、又は、前記第 2 電気部品の
うち指定された方の電気部品を駆動させる通常制御を行うものである一方で、

前記第 1 電気部品、及び、前記第 2 電気部品の双方を同時に駆動させる指示が入力さ
れた場合には、前記第 1 電気部品、及び、前記第 2 電気部品の双方を駆動させない異常制
御を行うものであることを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 4】

ところで上記文献に記載の遊技機では、多数の電気部品が搭載されているため、ノイズ
等の要因によりこれらの電気部品が一斉に動作すると遊技機の故障の原因となるため、こ
のような設計者の意図しない電気部品の一斉の動作を防止することが望ましい。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

本発明は上記事情に鑑みてなされたものである。すなわちその課題とするところは、ノ

イズ等の要因により発生する電気部品の一斉の動作を防止する技術を提供することである。

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００６

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００６】

本発明の遊技機は、

所定の制御条件の成立に基づいて遊技者に有利な特典を付与可能な遊技機において、

所定の態様で駆動される第１電気部品、及び、第２電気部品と、

前記第１電気部品、及び、前記第２電気部品を制御する第１の制御手段と、

前記第１の制御手段を介して、前記第１電気部品、及び、前記第２電気部品を制御する第２の制御手段と、を備え、

前記第１の制御手段は、

前記第２の制御手段から前記第１電気部品、又は、前記第２電気部品のいずれか一方を駆動させる指示が入力された場合には、前記第１電気部品、又は、前記第２電気部品のうち指定された方の電気部品を駆動させる通常制御を行うものである一方で、

前記第１電気部品、及び、前記第２電気部品の双方を同時に駆動させる指示が入力された場合には、前記第１電気部品、及び、前記第２電気部品の双方を駆動させない異常制御を行うものであることを特徴とする遊技機である。

【手続補正５】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００７

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００７】

本発明によれば、ノイズ等の要因により発生する電気部品の一斉の動作を防止することが可能である。